

◆ 3月18日（土）

15:30-16:30  オンラインセミナー：研究者としての就職活動とキャリア形成

大学院を出て研究者として立ち立つるまでにどのようなキャリアパスが考えられるか、若手研究者がそれぞれの就職活動やその後の研究活動を振り返り、厳しい環境の中でどのようにアカデミックキャリアを積んでいくか議論する。

中村優介（千葉商科大学）・山口優人（国会図書館・筑波大学大学院）・戸川和成（千葉商科大学）＝モデレータ

16:45-17:45  オンラインワークショップ：会員参加型「社会関係事典」プロジェクト

本学会の会員が編集や執筆に参加する社会関係事典やポータルサイトを作成する会員参加型「社会関係事典プロジェクト」のワークショップで、編集方針や構成について、ワークショップ形式で議論し、参加者からフィードバックを得る。

立福家徳（日本大学）・戸川和成（千葉商科大学）・小川顕正（新潟大学）・山内直人（日本公共政策研究機構）＝モデレータ

18:00-18:45 編集委員会（オンライン）（関係者限り）

19:00-20:00 理事会（オンライン）（関係者限り）

◆ 3月19日（日） 09:00 受付開始

09:30～11:00 分科会 A

A1 企画パネル1：地域主体のまちづくり活動の更なる展開に向けて—実務・行政・学術の連携（会議室2）

共催：京都大学経営管理大学院官民協働まちづくり実践講座

地域のダイバーシティや社会的包摂など地域主体のエリアマネジメント活動に期待される役割や課題、研究トピック、今後の展開に向けての方向性などについて議論を行う。

足立基浩（和歌山大学）・名畑恵（錦二丁目エリアマネジメント）・長谷川隆三（フロントヤード／全国エリアマネジメントネットワーク）・山田大輔（国土交通省）・要藤正任（京都大学）＝モデレータ

A2  チュートリアル1：地理情報システムGIS—基礎と応用（会議室3）

共催：獨協大学地域総合研究所

GISの基礎及び経済・政策分析への活用、まちづくり分野及び医療分野での活用事例の報告の後、GISソフトの一つであるArcGISの紹介を行い、様々な分野の研究にGISの利用を広げたい。

河端瑞貴（慶應義塾大学）・小泉和久（Civic Tech URA-CIMA 代表）・土井俊祐（東京大学）・土田雅代（ESRI ジャパン）・倉橋透（獨協大学）＝モデレータ

A3 公募報告1：ウェルビーイングとソーシャル・キャピタル（会議室4）

モデレータ＝水谷聖子（日本福祉大学） 討論者＝森田彩子（東京医科歯科大学）

Yu-Ru Chen・花里真道・中込敦士・阿部紀之・井手一茂・川崎洋平・近藤克則：サードプレイスと Well-being との関連—スマートフォンアプリを用いた調査

【優秀報告賞】井手一茂・上野貴之・辻大士・渡邊良太・斉藤雅茂・木村美也子・近藤克則：通いの場への参加とその後のソーシャル・キャピタル：福岡市におけるふれあいサロン参加者名簿を用いた縦断研究

【優秀報告賞】竹内寛貴・井手一茂・河口謙二郎・小林周平・花里真道・近藤克則：高齢者における近隣の公園や歩道と社会参加との関連：JAGES2013-2016-2019 縦断研究

西垣美穂・松岡洋子・Yu-Ru Chen・吉田紘明・平石智美・近藤克則・花里真道：地域高齢者における主観的幸福感と緑地や水辺の訪問頻度及び活動種類の関連

A4 公募パネル1：介護における性差の研究動向と課題：サービス利用および介護資金に着目して（中会議室）

要介護者のサービス利用や介護資金の性差について研究動向を整理するとともに、性差是正のための先進的な制度・支援に着目し、介護格差の是正に向けた今後の研究課題や実践・政策への示唆について意見交換を行う。

金雪瑩（長寿医療研究センター研究所）・野口泰司（長寿医療研究センター研究所）・小松亜弥音（国立長寿医療研究センター研究所）・金森万里子（京都大学／日本学術振興会特別研究員）・斎藤民（長寿医療研究センター研究所）＝モデレータ

11:20～12:50 分科会 B

B1 企画パネル2：企業で働く人のボランティアと社会貢献活動：パラレルキャリアの可能性を探る（会議室2）

独自の調査により、現役時代の活動が定年退職後等の社会活動などにどのような影響を与えるか、会社に求める活動支援策は何かなどを検討し、企業社会貢献活動とパラレルキャリアの方向性と課題を議論する。

浦坂純子（同志社大学）・石田祐（宮城大学）・梶谷真也（京都産業大学）・古俣誠司（JILPT）
小野晶子（JILPT）＝モデレータ

B2 企画パネル3：ICT とソーシャル・キャピタル：リアルとデジタルの融合（会議室3）

コロナ禍で重要性が増すICTの役割を踏まえて、人と社会とのつながりをリアルとデジタルの両面から捉え、その融合（ハイブリッド化）がもたらす新たなソーシャル・キャピタル像を議論する。

鎌田真光（東京大学）・藤井直敬（デジタルハリウッド大学）・加藤貴昭（慶應義塾大学）・中込敦士（千葉大学）＝モデレータ

B3 企画パネル4：クラウドファンディングによる研究資金のファンドレイジング（会議室4）

学術系のクラウドファンディングに対する理解を深め、多くの研究者、特に若手研究者が活用できるよう、研究資金を獲得したい研究課題に関する効果的な宣伝やアウトリーチの方法を議論する。

阿部麻衣子（academist）・野口真司（北海道大学）・原直誉（京都大学）・河口謙二郎（千葉大学）＝モデレータ

B4 公募報告2：公共政策と実証分析（中会議室）

モデレータ＝白井こころ（大阪大学） 討論者＝小川顕正（新潟大学）

河越正明：2021年衆議院選挙における有権者の選好を探る：コンジョイント分析による考察

山口 佳小里・井手一茂・斎藤民・近藤克則：保険者機能強化推進交付金指標の自治体規模による違い：2019年市町村指標を用いた地域相関分析

長島弥史郎：大学医学部の経営効率性に関する実証分析

【優秀報告賞】阿部紀之・井手一茂・方恩知・近藤克則：互助共助コミュニティ型資源回収ステーションの利用と要支援・要介護リスクの変化：1年間の縦断研究

12:50～13:45 昼食休憩（アエレカフェ）

***** この部分は無料一般公開されます *****

13:45 開場 14:00 開会

総合司会：岡田彩（副会長）

歓迎挨拶：山内直人（会長）

14:05～16:30 公開シンポジウム：社会関係とWELL-BEING（幸福・健康）（大ホール）

良質な社会関係は、ウェルビーイング（Well-being, 幸福・健康）の向上にとって不可欠の要因である。Well-beingも社会関係も学際的なテーマで、それぞれの学術分野で、異なる概念・理論・モデルに基づき、さまざまな方法論によるアプローチがなされ、知見の蓄積がなされてきた。

このシンポジウムでは、異なる学術分野のパネリストから、Well-beingと社会関係、両者の関係に関わる概念・理論・モデル、方法論、知見をご紹介いただくとともに、今後の課題についてもご提示いただくことで、それらを突破するための学際的な共同研究の可能性を探る。

基調講演

澤田康幸：東京大学大学院経済学研究科教授／同付属政策評価研究教育センター(CREPE) センター長

パネルディスカッション

内田 由紀子：京都大学人と社会の未来研究院教授

小林 正弥：千葉大学大学院社会科学研究院教授（副研究院長）

白井 こころ：大阪大学大学院医学系研究科社会医学講座特任准教授

原田 謙：実践女子大学人間社会学部教授

近藤 克則：千葉大学予防医学センター社会予防医学研究部門教授／

国立長寿医療研究センター老年学・社会科学センター研究所老年学評価研究部長（併任）＝モデレータ

17:00～19:00 懇親会（西千葉キャンパス内 アエレカフェ）

MC：水谷聖子（日本福祉大学）・森田彩子（東京医科歯科大学）＝大会運営委員

◆ 3月20日(月) 09:00 受付開始

09:30~11:00 分科会 C

C1 🟡チュートリアル2: 国際学会で報告しよう(会議室2)

国際学会での効果的な研究発表のための大会の選び方、準備の仕方、国内学会との違いなどについて議論するとともに、7月に日本で開催されるARNOVA-Asiaについて紹介する。

岡田彩(東北大学)・石田祐(宮城大学)・佐藤勝典(香川大学)・大西たまき(University of North Carolina)

山内直人(日本公共政策研究機構) =モデレータ

C2 企画パネル5: プレイスメイキングとは何かー賑わい空間の創造と評価ー(会議室3)

人々の集う賑わいのある空間や場をどのように計画するか、どのような空間や場に人が集まるのかという観点から、プレイスメイキング(空間創造)とその評価について考える。

高木大資(東京大学)・泉山壘威(日本大学)・林匡宏(common fun)・花里真道(千葉大学) =モデレータ

C3 公募報告3: ソーシャル・キャピタルの理論と実証(会議室4)

モデレータ=佐藤嘉倫(東北大学/京都先端科学大学) 討論者=露口健司(愛媛大学)

稲葉陽二: コールマン、パトナム、オストロムの比較からみたソーシャル・キャピタル概念の検討

小藪明生: 地域レベル指標としての向社会性、信頼、社会参加

高木悠希: 現代的な趣味縁に関する検討——包摂と排除、「好き」でつながる社会の展望を見据えて

眞田英毅: いじめ被害経験と「つながり」の関連—学校における不利な経験は社会関係資本に規定されるか

C4 公募報告4: ソーシャル・キャピタルとコミュニティ(中会議室)

モデレータ=國見真理子(田園調布学園大学) 討論者=等々力英美(琉球大学)

祇園景子・山田諒太: 潜在的復興力に対するソーシャル・キャピタルの影響について

丹羽由佳理・高橋理子・小坂橋潤一郎・金井優人: COVID-19影響下における身近な自然環境を活用した地域コミュニケーション

芳賀道匡: 地域子育て支援拠点におけるボランティアの心理社会的特徴の縦断研究: 焼津市ターントクルこども館のおもちゃ学芸員に焦点をあてて

前嶋了二: 小離島コミュニティの「関係人口」構築に関する一考察—『深島ネコ図鑑2019』は何を生み出したのか

11:20~12:50 分科会 D

D1 🟡チュートリアル3: ネットワーク分析とソーシャル・キャピタル(会議室2)

ソーシャル・キャピタル研究を始め、様々な研究に広く使われるネットワーク分析について、専門家による入門講義で、ネットワーク分析によりどのような研究が可能か具体的に講義する。

講師: 金光淳(京都産業大学)・近藤克則(千葉大学) =モデレータ

D2 企画パネル6: NPOの組織特性とネットワーク形成: 地域・組織・ネットワーク調査にもとづく分析から(会議室3)

NPOの役割を社会政策や地域経済政策などに関する議論のなかに位置づけ、NPOの組織特性と組織内外の社会ネットワークとの間にどのような相互作用関係が存在するのかを理論的・実証的に明らかにする。

山本圭三(摂南大学) 猿渡壮(島根大学) 宮垣元(慶応義塾大学)・戸川和成(千葉商科大学)

鈴木純(神戸大学) =モデレータ

D3 公募パネル2: 「ブレンディング・コミュニティ型地域の居場所」における社会関係とウェルビーイング(会議室4)

支援/非支援や専門家/非専門家の枠を越えて相互理解と支援の関係が生まれているブレンディング・コミュニティ型の地域の居場所(コミュニティカフェ、地域の縁側、子ども食堂など)の可能性を三つの事例を通じて探求する。

加藤愛理子(Ponte とやま)・森祐美子(こまちぷらす)・小辻寿規(立命館大学)・瀬上倫弘(横浜市立大学)・野村美里(津田塾大学)・

奥野美里(同志社大学)・佐野淳也(大阪成蹊大学) =モデレータ

D4 公募報告5: コミュニティと健康(中会議室)

モデレータ=大守隆(東京国際工科専門職大学) 討論者=井手一茂(千葉大学)

高橋勇介: 労働者の健康と主観的厚生に対する考察

森野純夏: 高知県四万十町における、ソーシャル・キャピタルと主観的健康感の世代別関連性

淡路麻衣・丹羽由佳理・高橋理子・要藤正任・園田康貴・長谷川隆三: 大都市ビジネス街のオープンスペースに求められる新たな設え—ワーカーを対象にしたアンケート調査に基づいて

【最優秀報告賞】 関根仁博: 近隣ソーシャル・サポートはコロナ禍のストレスを軽減するの—ながはまスタディ

12:50～13:50 昼食休憩 (アエレカフェほか)

14:00～15:30 分科会 E

E1 チュートリアル 4: 査読ジャーナルに投稿しよう (会議室 2)

本学会機関誌『社会関係研究』(JSR)の刊行開始を記念して、あらためて学術誌の刊行や掲載の意義、投稿者から見た学術誌選択の基準、原稿の準備の仕方、最近の学術誌をめぐる話題などについて解説したい。

石田祐 (JSR 編集委員長)・木谷耕平 (JSR 副編集委員長)・山内直人 (JSR 編集委員・JASR 会長) =モデレータ

E2 企画パネル 7: 変わる家族一個票が語る共同体の変容と政府 (会議室 3)

家族の変化をさまざまなデータセットの個票から探った調査を紹介し、経済社会の中での市場・家族・政府の三者の関わり、とりわけ政府の役割を再考するとともに、使用データの元となる調査についての理解を深める機会を提供する。

伊藤伸介 (中央大学)・川出真清 (日本大学)・児玉直美 (明治学院大学)・河越正明 (日本大学) =モデレータ

E3 公募パネル 3: 人権を尊重し労働者を保護する持続可能な公共調達を考える: 国際的潮流と国内外の事例を踏まえて (会議室 4)

サプライチェーンの不当労働・強制労働などを含めた公共調達の労働現場の人権・労働問題への対応に焦点を当てつつ、日本における持続可能な公共調達 (SPP) の可能性について、国内外の事例を織り交ぜながら議論していきたい。

原田晃樹 (立教大学)・高橋大祐 (弁護士)・古谷由紀子 (CSO ネットワーク)

長谷川雅子 (CSO ネットワーク) =モデレータ

E4 公募報告 6: 地域政策とソーシャル・キャピタル (中会議室)

モデレータ=阿部紀之 (千葉大学) 討論者=宇佐美宗勝 (嘉悦大学)・立福家徳 (日本大学)

要藤正任・園田康貴・吉田恭: エリアマネジメント活動に対する金銭的負担意思と社会関係資本に関する分析

【優秀報告賞】熊澤大輔・田村元樹・井手一茂・近藤克則: 道の駅利用とソーシャル・キャピタル関連指標の関連: 3年間の縦断研究
覃子懿・福田大輔: 公共交通の利用行動がソーシャル・キャピタル醸成に与える影響についての考察

谷水俊介・北見幸一: デジタルを活用した新たな地域参画の可能性

15:45～16:45 表彰式・総会 (大ホール)

第3回研究大会最優秀研究報告賞・優秀研究報告賞

日本社会関係学会賞: 最優秀賞、優秀賞、奨励賞

会員総会 (表彰式に引き続き、非会員の方も参加可能です)

会場: 千葉大学西千葉キャンパス・けやき会館 千葉市稲毛区弥生 1-33

JR 西千葉駅北口から南門経由で徒歩7分、または京成みどり台駅から正門経由で徒歩7分

キャンパス案内図: https://www.chiba-u.ac.jp/others/topics/events/keyaki/files/keyaki_map.pdf

1階: 大会受付・大ホール 2階: 会議室2・会議室3・会議室4 3階: 中会議室・レセプションホール

日本社会関係学会第3回研究大会運営委員会

近藤克則 (千葉大学) =委員長 相田潤 (東京医科歯科大学)・井手一茂 (千葉大学)・小野晶子 (労働政策研究・研修機構)

河口謙二郎 (千葉大学)・河越正明 (日本大学)・倉橋透 (獨協大学)・白井こころ (大阪大学)・竹内寛貴 (千葉大学)

等々力英美 (琉球大学)・中込敦士 (千葉大学)・藤原佳典 (東京都健康長寿医療センター)・水谷聖子 (日本福祉大学)

森田彩子 (東京医科歯科大学)・要藤正任 (京都大学)・山内直人 (日本公共政策研究機構)・立福家徳 (日本大学)

小川顕正 (新潟大学)・戸川和成 (千葉商科大学)

大会事務局: 梅原あすな・藤澤顕子・伊野宮路代・小松巧

スタッフ: 野村美里・福山将平・峯村遥香・森野純夏・斎藤航平・小林周平・松村貴与美・Ling Ling・王鶴群・熊澤大輔・坂本和則

日本社会関係学会理事会・事務局

会長: 山内直人 副会長: 岡田彩・近藤克則 総務理事: 河越正明 監事: 大久保朝江・各務克郎

理事: 立福家徳・戸川和成・石田祐・小野晶子・金谷信子・佐藤嘉倫・辻中豊・露口健司・藤原佳典・松永佳甫・要藤正任

学会事務局: 立福家徳 (事務局長)・小川顕正 (局次長)・戸川和成 (局次長)・梅原あすな (会員担当)・藤澤顕子 (WEB 担当)

日本社会関係学会公式サイト: <https://jipps.org/jasr/>

学会事務局: jasrsec@gmail.com